

第1回 山崎南中学校区 学校規模適正化に関する地域の委員会 (R5. 5. 30)

(会議の経過)

発言者	議題・発言内容
小河次長	1. 開会
中田教育長	2. あいさつ
委員・事務局	3. 自己紹介
	4. 会長、副会長の選任について
小河次長	資料①11ページの地域の委員会要綱の規定により、会長・副会長を置くこと、委員の互選によって選出することを規定しています。
	選出について、ご意見はございませんか。意見が無いようであれば、事務局から提案をさせていただきたいと思いますがよろしいでしょうか。
委員	異議なし
小河次長	ご異議が無いようですので、会長・副会長について提案させていただきます。
	会長に戸原地区自治会長の西明寺正己さん、副会長に城下地区副自治会長の宮脇昭介さんを提案させていただきます。
	いかがでしょうか。
委員	(拍手多数で承認)
西明寺会長	会長あいさつ
宮脇副会長	副会長あいさつ
	5. 報告事項
	(1) 学校規模適正化とは
	(2) これまでの経緯及び令和4年度以降の城下地区・戸原地区における協議等について
	(3) 市内の学校規模適正化の状況等について
	(4) 地域の委員会の役割等について
事務局	資料①3～10ページ等により、(1)から(4)について説明
委員	質疑等はありませんか。
委員	去年から戸原地区で学校規模適正化の協議をしていますが、城下地区の協議内容があまりみえないように思います。意識調査も先週の話で、資料6ページの

委員	<p>3の一番下に次の会議で説明するとあるが、どういった感じなのか聞かせていただけますか。</p> <p>事務局としては、城下の協議内容は資料①6ページに記載されているとおりでということですね。もっと細部とか、小中一貫教育の内容について知りたいという意見があり、次の会議で説明することとしたということと終わっているかと思いますが、いかがでしょうか。</p>
事務局	<p>城下地区での協議は、令和4年10月13日に開催させていただきました。</p> <p>そのなかで、影響の大きい戸原地区の意見が大事ではないか、それを待ちましようという意見を多くいただきましたので、戸原地区で協議を重ねていったところです。</p> <p>小中一貫教育については、今回の会議で説明するというので、城下地区での協議は1度であったので、本日の説明とさせていただきます。</p> <p>アンケートについてはぎりぎりになりましたので、結果を見ていただくのは今日が初めてになります。事前にアンケート結果を報告できていないというのが実情です。</p>
委員	<p>ぎりぎりになった理由というのは何かあるのでしょうか。</p>
事務局	<p>アンケートがぎりぎりになった理由ですが、年度替わり等で繁忙期であったという理由しか十分な説明ができないのですが、アンケート実施について城下地区から意見としていただいておりますので、アンケート時期について年度末が適切だったのかもかもしれませんが、特段理由はございません。</p>
委員	<p>戸原地区への影響が大きいことから戸原地区の協議を進められたというのは理解できます。ただ、戸原地区の方、気分を害されたら申し訳ないのですが、吸収合併の形であれば、城下としても理解できます。</p> <p>しかし、城下単体でいうと適正化する必要はない状況です。</p> <p>千種や波賀の場合はどこも小規模だったので、すべて閉校して進めるというのは理解できるし、また、戸原が優先、影響が大きいということも理解できますが、なぜわざわざ戸原小と城下小の両方を閉校し、新しい学校を開設する必要があるのか、この部分を説明していただけますか。</p>
事務局	<p>学校規模適正化については、規模にかかわらず新しい学校をつくっていくという考え方で進めております。地域によっては、城下ほど大きな小学校では無いですが、大きな小学校と小さな小学校ということもありましたが、吸収ということではなくて、双方の歴史を閉じて、新たな学校をつくっていくのを基本に考えております。城下小・戸原小、それぞれ長い歴史があること</p>

	<p>は重々承知しておりますが、適正化を進めるということであれば新しい学校をつくっていくということをお願いしたいと考えています。</p>
委員	<p>基本的なスタンスは理解できるのですが、それであれば、戸原地区への影響が大きいから優先したというのは矛盾してないでしょうか。両方とも閉校して、新しい学校をつくるのであれば、城下へも同じように説明するべきではなかったでしょうか。</p>
事務局	<p>優先したということではありませんが、戸原地区の協議は、昨年10月以降に3回開催しています。城下地区については、昨年10月の協議のなかで、戸原地区の意見が大事、戸原地区の協議を待ちましようということ、また、新たな学校になることについてもご理解をいただきましたので、戸原地区で協議を重ねていったということでもあります</p>
	<p>5 報告事項 (5) 小中一貫教育について</p>
事務局	<p>資料①12～13ページにより、(5)について説明</p>
委員	<p>小中一貫の体制について、城下地区はいつからの予定なのでしょう。</p>
事務局	<p>山崎南中学校区については、何年度からと具体的には決定しておりませんが、学校規模適正化の協議の進捗状況にあわせて、小中一貫教育の話も進めていきたいと考えています。</p>
委員	<p>令和9年度頃から市内全域で小中一貫教育の導入を目指していると思うのですが、その場合、今回の学校規模適正化の協議が進まなかった時はどうなりますか。</p>
事務局	<p>適正化の協議が進まなかった場合も、城下小と山崎南中の小中一貫教育、戸原小と山崎南中の小中一貫教育を進めてまいります。</p>
委員	<p>そうなるのであれば、それを前提に、最終的にはそうなるということを城下地区・戸原地区とも説明していったほうが、前向きに協議ができるかと思います。</p>
事務局	<p>6. 協議事項 ・学校規模適正化に関する山崎南中学校区の方向性について この地域の委員会で協議いただく中で、適正化を進めるか、進めないかを決定いただくこととなります。</p>

	<p>進めないとなった場合は中止となり、また、進めるとなった場合はあわせて新しい学校の開設時期についても協議いただくこととなります。</p> <p>令和4年度以降の城下地区・戸原地区におけるそれぞれの協議の内容につきましては、先ほど報告事項の中でご説明させていただいたとおりです。</p> <p>城下地区の協議では、戸原の意見が大事、戸原の協議を待ちましょうということ、また、新校になることについてご理解をいただきました。</p> <p>戸原地区の協議では、すべての方が賛成というわけではありませんでしたが「課題はあるものの学校規模適正化の協議を前向きに進めていく。」との意見をいただいています。</p> <p>学校規模適正化の協議の進め方については、地域の委員会で協議いただき、合意いただいたあと推進していくこととしており、これは、学校規模適正化推進計画を策定した当時から変わっておりません。</p> <p>この地域の委員会で十分に協議いただき、方向性を決定いただきまして、次の段階へ進みたいと考えておりますので、ご意見等をお願いいたします。</p>
委員	<p>事務局から説明がありました。</p> <p>城下地区・戸原地区、それぞれで協議をしていただいたなかでは、方向性として前向きに進めていくと聞いています。</p> <p>最終的に、この地域の委員会で、学校規模適正化に向けての方向性を決定するということですが、それについて、みなさんの意見をお願いします。</p>
委員	<p>保護者にアンケートをとられていますが、結果だけが出ていて、今後の対策をどうするかということは書かれていませんので、次回このような回答をつくらせていただくことはできませんか。</p>
委員	<p>アンケートが出ておりますけれども、最初から結論が見えないということですよ。方向性を委員会の中で決定してほしいというのもよくわかるんですけど、新しく令和5年度から役員になられた方もいる中で、戸原地区の方向性としては、前を向いて適正化の方向へ進めようということで、私たちは意思確認をできたと思っています。城下地区については、現在のところ児童数はそれなりにある学校なのになぜ適正化が必要なのかという意見もアンケートにありますので、この辺りの説明が必要ではないかと思います。</p>
事務局	<p>アンケートでは様々なご意見をいただいておりますので、その意見等に対し市としての方針や考え方をまとめたものを次回お渡ししたほうが委員の皆さまの共通認識のもとに議論ができるんじゃないかということですね。次回の会議でそういった資料を持ち寄らせていただいて、ご意見を伺いたいと思います。</p>
委員	<p>子どもたちに予算を使っていただくことはすごくいいことだと思いますし、学</p>

	<p>校に予算を割いていただくのはいいことだと思います。</p> <p>適正化することでおそらく予算が浮いて、スクールバス1台の費用と先生の人件費を比べたら間違いなく財政面は安定化すると思いますが、具体的に合併した場合、どれくらいの金銭的メリットがあるのかを出していただけたらいいと思います。</p>
事務局	<p>校舎の維持管理だったり、大規模改修の金額であったり、金銭面のところも影響があると思います。人件費の部分は、学校の教職員は県の予算ですので、あまり大きくは影響しないのですが、市の予算で雇用している用務員等もありますので、金額としてお示ししたいと思います。</p>
委員	<p>県の予算になるのであれば、市の予算とは関係ないと思うのですが、そこを書いていただいた方がいいかと思います。総合病院が移転することで、その土地が6億で、建物が150億ですか、それは市民が関係あるから強く言っていると思いますが、先生の人件費が県から支払われるのであれば、戸原小学校としたら少人数で集中した学力向上になるかなと思うので、それも書いていただけたら、判断材料の一つになるかと思うのでお願いします。</p>
事務局	<p>県の予算ですので、具体的にはわからない部分がありますが、ここにかかっているお金という考え方ですね。</p>
委員	<p>県の予算とはいえ、2校が1校になった場合、少なくとも校長先生や教頭先生は1人になりますね。</p>
事務局	<p>ここは市が負担している、ここは県が負担しているというのを資料として次回提案させていただきたいと思います。</p>
委員	<p>城下の方がどう思われるかわからないですが、戸原小はこのまま校舎が残ることになります。この後どうなるのかということは、地元の者は不安になっています。そういったこともこの中で知らせてあげたほうがいいのかと思います。維持管理など地元の人間は不安に思っています。</p>
事務局	<p>学校が地域からなくなって寂しくなるとか、地域の交流がなくなるとか、さまざまな意見をいただけてきました。学校の跡地活用について市がどのように考えているのか、基本的な考え方や、市内の他施設の状況をお示しさせていただきます。</p> <p>跡地活用については教育委員会だけでお話しすることはできないのですが、市として考えていることをお伝えさせていただけたらと思います。</p>

委員	山崎南中学校区の方向性としては、次回、決めるということでしょうか。
委員	今回だけでは難しいように思います。 それぞれの意見が出ましたので、あとの日程のことをあわせて、事務局、お願いできますでしょうか。
委員	1点よろしいでしょうか。令和9年に小中一貫が始まるとすれば、そのときにまた学校名は変わることになりますか。
事務局	適正化が進められた場合、城下小学校と戸原小学校が一つの新しい小学校になりますが、その新しい小学校と山崎南中学校で小中一貫教育をどうやって進めていくか、また、別の会議が行われます、そのなかで「愛称」を決めていくことになります。 今年からスタートした波賀小学校と波賀中学校の場合は、正式に波賀小学校と波賀中学校という学校名はそのまま残っています。一緒に活動する、一つの小中一貫教育をおこなう小中学校の愛称として「波賀学園」という名前を学校名とは別に付けています。
委員	小中一貫教育によって制服は変わりますか？
事務局	制服は変わりません。
委員	次回以降の方向性の協議についてですが、次回の会議を行うということは、前向きに検討するという理解でよろしいでしょうか。
委員	そのように考えています。あらためて次回、先ほど意見がありましたことをもう一度説明していただければ、前へ進んでいくのではないかと思います。 今日、適正化を進める、進めないということではないと思いますが、前を向いてお願いしたいと思います。
事務局	7. その他 (1) 次回の予定 (2) その他 次回の日程等について説明
委員	会議の公開ということなんですけれども、今日、この会議を開くということをアナウンスされたんですか？
事務局	市ホームページとしーたん通信でお知らせをさせていただきました。

委員	<p>城下小学校と戸原小学校が一番関係するところなので、アンケートをとるなら開催についても同時に言っていただきたかった。委員会がいつ、どこで開かれるというのをホームページやしーたん通信だけでなく、市のホームページ見る暇がない人、しーたん通信を聞いてない人が多いかと思うので、その人たちからしたら開催されていることが分からないと思います。次回からは、戸原小・城下小の保護者には連絡をお願いしたいと思います。</p>
大谷部長	8. 閉会